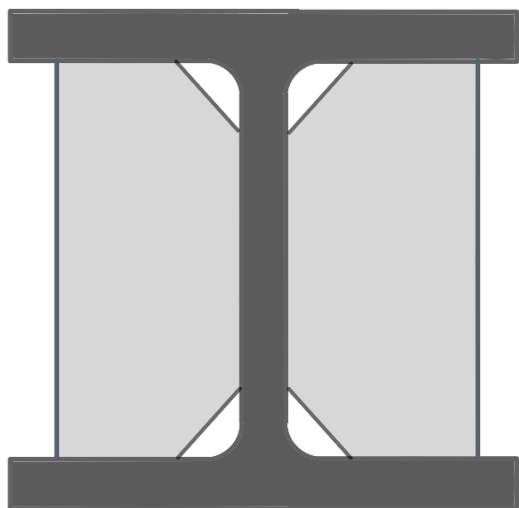


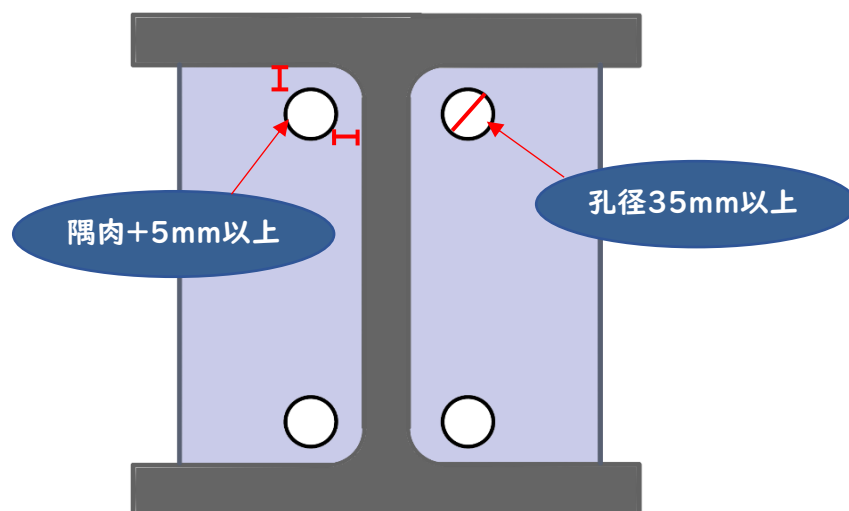
## 8. ノンスカラップ構造について

製品の耐久性向上の観点から、ノンスカラップ工法の採用が主流となりつつあります。ノンスカラップ工法を用いた製品を溶融亜鉛めっきする場合、亜鉛溜まりが生じます。

### ノンスカラップ工法の加工例



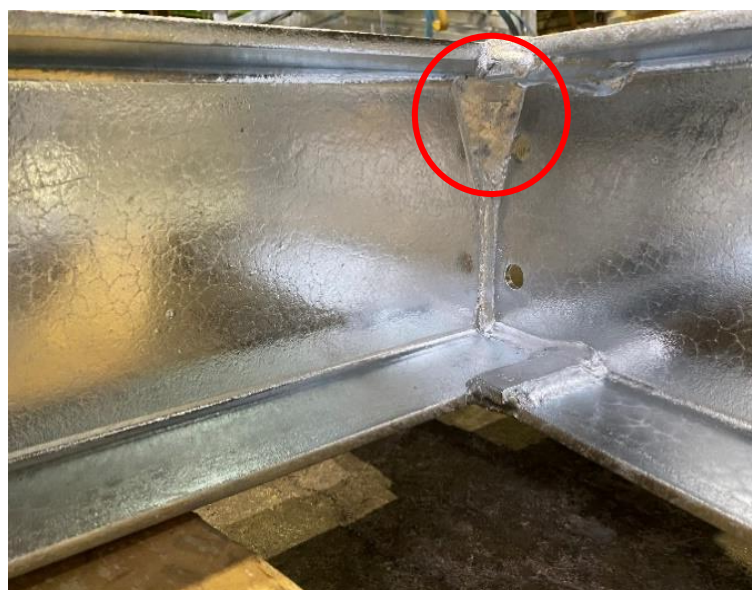
従来のスカラップ工法



ノンスカラップ工法

- ・JASS6 鉄骨工事技術指針により、右図のようにノンスカラップ工法の孔位置、孔径が規定されています。スカラップを設ける場合に比べ、孔位置が製品角部と離れるため、亜鉛溜まりが発生します。

### ノンスカラップ工法のめっき状態



- ・当社では製品の外観と耐食性を重視し、無理に亜鉛溜まりを除去することはせず、なるべく1カ所に固定させる方針を取っております。